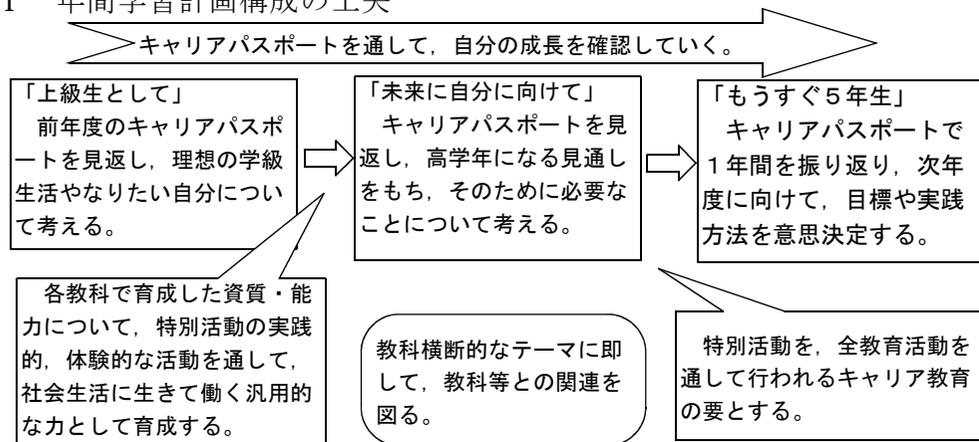


第4学年 学級活動「未来の自分に向けて」
「(3)ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」

自分の成長と課題を振り返り、主体的に行動しようとする態度を養う。

東和小学校 大和田 樹

I 年間学習計画構成の工夫



児童の実態
 1人1人の関心事には意欲的であるが、集団では主体的に活動することができず、高学年に進級することへの意識が希薄である。

単元を通して育成したい子どもの姿
 自己の生活や学習の課題を見だし、解決のために意思決定しながら、自己のよさを生かして主体的に活動しようとする姿

「年間指導計画構成の工夫」における ○成果と●課題
 ○ 定期的にキャリアパスポートを見返すことにより、自分の確かな成長を実感するとともに、自分の課題を解決するために、自信を持って活動しようとする姿が見られるようになった。
 ● 子どもたちがキャリアパスポートを見直す機会を増やしていきたい。年度初めや年度末、学級活動(3)の授業だけでなく、月や隔週に一度というように、定期的にキャリアパスポートを見直す機会を設けた方が、記録を積み重ねていくことができ、自分の成長を捉えやすくなる。

年間学習計画 (総時数 6 時間)

時	場面	児童の活動 (夢中になって学んでいる姿)	資質・能力
1	上級生として	理想の学級生活・なりたい自分に近づくために、どのようなめあてにすればよいかを考え、話し合う。	なりたい自分に向けて、自分のめあてを意思決定することができる。 (思・判・表)
2	みんなのためになることをしよう	学級全体や友達のために、自分はどのようなことができるのかを考え、話し合う。	みんなのために、自分ができる行動を意思決定することができる。 (思・判・表)
3	家庭学習の習慣化	家庭学習における自分の課題を知り、なりたい自分に向けて、家庭学習で頑張ることができそうなことを話し合う。	将来への見通しをもち、そのための学習方法や行動の仕方を意思決定することができる。 (思・判・表)
4	情報モラル教育	複数のサイトを比較し、信用できる情報を判断するなど、正確な情報を得るための方法を考える。	インターネットで正確な情報を得る方法を身につけることができる。 (知・技)
5 (本時)	未来の自分に向けて	なりたい高学年に向けて、自分の良さを生かせる取り組みについて話し合う。	自分が目指す高学年になるための方法を意思決定することができる。 (思・判・表)
6	もうすぐ5年生	1年間を振り返り、自己のよさを確認して、5年生に向けて今からできそうなことを話し合う。	なりたい5年生に向けて、自己実現の見通しをもつことができる。 (思・判・表)

II コーディネートの工夫

<本時のねらい> 高学年になっていくための見通しをもち、そのために必要なことについて話し合うことを通して、自分に合った具体的なめあてを立てることができる。

	学習活動・内容(T主な発問C児童の反応)	<コーディネートの実際>	<コーディネートの改善>
課題設定	<p>I 自分たちの成長を振り返り、5年生になるにあたっての自分たちの課題について話し合う。 T: 4年生になってどんなことができるようになったかな。 C: 4年生でできるようになることは多い。 C: しっかりとした5年生になれるかな。</p> <p>なりたい5年生になるために、自分が取り組むことを決めよう。</p>	<p>I 自分たちの成長を振り返り、5年生になるにあたっての自分たちの課題について話し合う。 T: みなさんがどのくらい成長したり、どのように変わったのか、映像を見てみましょう。(振り返った結果をまとめたものをプロジェクターで見る。) C: たしかに、忘れ物しなくなったよなあ。 C: 私も漢字や計算が分かるようになった。 C: 学習面や生活面で頑張っている人が多いよね。</p> <p>キャリアパスポートを振り返った結果を見せ、子どもたちのつぎやきを聞くだけになってしまった。</p> 	<p>I 自分たちの成長を振り返り、5年生になるにあたっての自分たちの課題に気付かせ、児童同士で共有させる。 T: ○○さんはどんなことができるようになったかな。 C: □□ができるようになりました。 T: ○○さんと同じだと思っている人はいるかな。はい、△△さん。 C: 僕も3年生の頃より□□ができるようになった。 C: 先生、僕たちって、できることが多くなっていたんだね。</p> <p>子どものつぎやきが聞こえたら、その場で立ち止まり、できるようになったことを全体で共有する。そして、「自分たちはこんなに成長したんだ」と気付かせる。</p>
課題解決	<p>2 5年生になったら、どんなことをがんばっていきたいのか話し合う。 T: 5年生になったら、どんなことをがんばりたいですか。 C: 宿泊学習・学び合い・協力し合い</p> <p>3 5年生が活躍していた場面の写真や動画を見る。 C: 5年生ってこういうことをするんだ。</p> <p>4 どんな5年生になりたいか。そのためにはどんなことが必要かを話し合う。 T: 自分がなりたい5年生になるためにはどんなことが必要でしょうか。 C: けじめのついた生活をする。 C: 時間を守る。時計を見て行動する。 C: 委員会活動等について、下学年の子に教える。</p>	<p>T: では、アンケートの結果をしてみよう。 C: 高学年になることが「半分楽しみで半分不安」って回答している人が多い。 T: 「楽しみ」、「不安」と回答しているそれぞれの理由は・・・(理由を見る。) C: 宿泊学習や家庭科を楽しみにしている人がたくさんいるね。 C: でも、学習面や生活面で不安に思っている人が多いよ。</p> <p>1人1人の不安なことや悩みを聞くだけになってしまっていた。</p>	<p>T: アンケートの結果をしてみると、不安だと感じている理由が「□□だから」という人がいます。同じ気持ちの人はいますか。 C: はい。私も□□という理由ですごく不安です。私だけじゃなかったんだ。 C: 高学年になるのは不安だという人は結構多いな。どうすればいいかな。</p> <p>不安や悩みをその場で共有させることで、課題に向き合おうとする意識をさらに高める。</p>
振り返り	<p>5 5年生になるまでに、自分が実践することを決め、伝え合う。 T: これから5年生になるまでに、自分が実践していくことを決めましょう。 C: 友だちと協力して課題を解決していきたい。 C: 相手の目を見て、しっかりと話を聞きたい。</p>	<p>「コーディネートの工夫」における ○成果と●課題</p> <p>○ 導入の段階で自分達の成長を確認したことが自信につながり、課題に向き合う際の意欲の向上につながっていた。</p> <p>● キャリアパスポートを振り返った際や、アンケートに回答した際の子どもの意見を数多く紹介したため、時間がかかってしまった。子どもたちに紹介する内容は精選し、キャリアパスポートやアンケートを振り返る時間を短縮すべきであった。また、互いの意見を交流する場を設けた方が、より深く成長や課題の確認ができたと考えられる。</p>	